



IRC 公示 2023-01

IRC ヘッドセール搭載数—ヘッドセール搭載数のレーティング値への影響

2023年9月（2023年10月20日更新）

IRC テクニカルコミッティーは、2024年規則でヘッドセール搭載数をレーティングに反映することを IRC コングレスに提案し、これが採択されました。その内容は、“2024IRC 規則変更項目”を参照ください。

規則変更の理由と背景としては：

現行の IRC は、ヘッドセールの搭載枚数をレーティングに反映しておらず、単に最大エリア (HAS) と最大ヘッドセールラフ長さ (HLU_{max}) を考慮している。複数ヘッドセールは、次の2つのケースで明確な有利性を有する：

- ・コンディションが変化した場合のセールワードローブの広い選択範囲
- ・複数のヘッドセールを同時に展開することによるセール面積の増加、特にリーチング時の大型艇。

2024年の IRC 規則で、ヘッドセールの搭載数が申告項目に追加される。この数値は、ヘッドセールの搭載数であり、レース中同時に展開されるセールの数ではない。提案に含まれたのは：

- ・ OSR 4.26.2(a)による1枚のヘビーウェザージブおよび OSR 4.26.2(b)による1枚のストームジブは、ヘッドセール搭載数には含まれない。ファーリングヘッドセール要件とヘビーウェザージブの要件は、現行規則 21.8 が幾分セーラーにとって判り難い感が否めないことから、出来る限り従来通りの運用が維持され、IRC のこの部分の明確さが失われないようにする。
- ・ 2024年は、ヘッドセールの搭載数の申告が求められる。
- ・ ヘッドセール搭載数は、証書に記載される。

本公示の目的は、異なるサイズとタイプのヨットに対し、異なる数のヘッドセール搭載数がレーティングに与える影響を示すことにあります。レーティングを決めるためのヘッドセールの搭載数に最大値はなく、下の表は、搭載数範囲に対するレーティングの変化を示します。

2024年のレーティングが変化しないヘッドセールの搭載数は、いくつかのファクターによって決まりますが、ハル長さは主要な影響ファクターです。ハル長さは整数ではないので、ボートサイズの変化に伴いスムーズにレーティングが変化します。例えば、10mボートは、ヘッドセール数3から4枚辺りで最小のレーティング変化が見られ、15mボートでは、4から5枚辺りで最小のレーティング変化となります。注意しなければならないのは、2024年のレーティング変化の要素は他にもあるということで、それに伴い2023年のレーティングから変化するという事です。

DESIGN	Number of Headsails Onboard/Rating						
	1	2	3	4			
Folkboat	0.790	0.791	0.792	0.793			
Contessa 26	SFH	1	2	3	4		
	0.778	0.783	0.784	0.785	0.786		
Quarter Tonner	1	2	3	4			
	0.901	0.902	0.903	0.904			
Sigma 33	SFH	1	2	3	4		
	0.893	0.897	0.898	0.899	0.900		
Sun Fast 3300	1	2	3	4	5		
	1.030	1.031	1.032	1.033	1.035		
First 40	1	2	3	4	5		
	1.087	1.088	1.089	1.090	1.091		
Ker 46	1	2	3	4	5	6	
	1.283	1.284	1.285	1.287	1.288	1.290	
Grand Soleil 46.3	SFH	1	2	3	4	5	6
	1.046	1.050	1.051	1.052	1.053	1.054	1.055
TP 52	1	2	3	4	5	6	7
	1.403	1.404	1.406	1.407	1.409	1.410	1.412
Maxi 72	1	2	3	4	5	6	7
	1.620	1.621	1.623	1.624	1.626	1.627	1.628

* SFH = Single Furling Headsail Allowance in accordance with IRC Rule 21.8

IRC Technical Committee
 September 2023
 Updated 20/10/2023